

# 大磯町成人式

1月11日(月・祝)、大磯プリンスホテルで成人式を開催し、今年は男性157名、女性163名の計320名が大人の仲間入りをしました。

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を図り、式典の規模を縮小し、2部制にて実施しました。

新成人たちは、華やかな振り袖や袴、真新しいスーツを身にまとい、どこかあどけなさを見せながらも、堂々とした姿で振る舞い、それぞれが晴れやかに輝いていました。

成人式という節目を迎え、気持ちを新たに、一人ひとりがそれぞれの信じる道を歩み始めました。

問生涯学習課 ☎内線346

▼撮影時のみ、会話のない状態でマスクをお取りいただきました。



▲成人式実行委員会の皆さん

大磯中学校区 成人式実行委員会委員長  
別所 拓真  
昨年は様々な事柄が変化した一年でした。当然、成人式においても、準備から本番まで、例年とは全く異なる形となりましたが、町職員の方々や実行委員みなさんの尽力により、開催できることを非常に嬉しく思います。

僕は、大磯町が心から大好きです。大磯に帰省するたび、薫る潮の匂いや広がる緑に、「ああ、帰ってきたな」と心が満たされます。この気持ちは大磯を出て、一人暮らしをするようになってから改めて認識しました。  
当たり前すぎて気がつかないけど、離れてみて実感する大切さというものがたくさんあります。そんな「気づき」を、20歳を迎えたこれから、少しでも多く増やしていければと思います。  
また、大切なものを見失わず、けれどもどこか新しくなっていく、そんな大磯町のように「変わらないまま変わり続ける」大人に、僕もなっていきたいです。

国府中学校区 成人式実行委員会委員長  
本城 遥基

共に学び、遊び、時に競い合った仲間たちと共に20歳という節目を迎えられたこと、とても嬉しく思います。  
私たちが無事成人を迎えることができたのは、深い愛情を注いでくれた家族をはじめ、時に厳しくも真剣に向き合ってくださった先生方、温かく見守ってくださった地域の方々、そして気の置けない友人たちの存在、どれもが欠けては成り立たないものであったと感じています。  
さて、成人になった今日、思い返すと様々なことがありました。嬉しいことがたくさんありました、困難にもぶつかりました。一人では成し得ないことも仲間やたくさんの方の支えによって達成できました。時に誰かを助け、誰かに助けられ、ここまで成長できました。私たち新成人はこの思い出を胸に、今度は後輩たちに新たな道を示していかなければなりません。  
まだまだ未熟な私たちですが、感謝の心を忘れず、これからの新しい時代で活躍できるように一層精進してまいります。

